

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1		地域の中で住民との交流が不足している。	地域密着型の事業所としての存在感を発揮し、地域住民との交流が深まる。	毎日曜日のラジオ体操の継続、及び利用者・職員の参加。保育園への手縫い雑巾の提供などによる交流を更に深めていく。	3ヶ月
2		職員体制の整わない中、外出の機会がなかなか取れていない。	わずかな時間でも戸外の空気を吸え、季節を感じられる。	近隣への買い物の同行。日を分けて短時間でも事業所の近隣へ散歩に出掛ける。	3ヶ月
3		家族会は年1回に留まっている。ご家族同士の交流の場も持っていない。	ご家族がもっと気軽に意見や要望を言えるような交流が持てる。	季節毎の行事の際にはご家族への参加を促し、その後の家族間の交流へ繋げていけるよう職員も間に入っていく。	6ヶ月
4		当事業所での看取り経験は少なく、重度化・終末期ケアに向けての態勢強化を図っていく必要がある。	各入居者の重度化への対応が後手にならないよう、日々の体調変化を観察・記録し、情報共有と医療連携が取れる。	毎日の申し送り、毎月のケアカンファレンス等により情報共有の強化。医療面の内外研修の参加。	6ヶ月
5		地域を巻き込んだ災害対策ができていない。	年2回の消防訓練に地域からの参加がある。	毎日曜日のラジオ体操をきっかけに地域住民と顔見知りになり消防訓練への参加を促していく。	12ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。